

町政を問う

一般質問とは

議員が町政全般にわたり、執行機関（町長・教育長など）に疑問点について、所見を伺うことです。



村川 毅 議員

将来にわたる町の財政について 4



高森 功治 議員

違反ごみの対策について 6

外国人労働者と行政のかかわり方について 7

野良猫の避妊・去勢手術に助成を 8

● 令和 6 年中の議会運営状況 ●

● 定例会

区分	会 期		会議 日数	町長・議員提出議案					請願 陳情	意見書 決 議	合計	一般質問	
	日 程	日数		条例	予算	決算	人事	その他				人数	件数
第 1 回	3 月 7 日～15 日	9 日	3 日	16 件	16 件	—	1 件	3 件	—	—	36 件	2 人	2 件
第 2 回	6 月 18 日～21 日	4 日	2 日	—	6 件	—	—	2 件	—	2 件	10 件	2 人	2 件
第 3 回	9 月 10 日～20 日	11 日	3 日	1 件	4 件	8 件	1 件	2 件	—	2 件	18 件	2 人	3 件
第 4 回	12 月 10 日～13 日	4 日	2 日	8 件	13 件	—	1 件	1 件	—	—	23 件	2 人	4 件

● 臨時会

区分	会 期		会議 日数	町長・議員提出議案					請願 陳情	意見書 決 議	合計
	日 程	日数		条例	予算	決算	人事	その他			
第 1 回	1 月 19 日	1 日	1 日	1 件	1 件	—	—	—	—	—	2 件
第 2 回	2 月 22 日	1 日	1 日	—	1 件	—	—	—	—	—	1 件
第 3 回	5 月 24 日	1 日	1 日	—	10 件	—	—	4 件	—	—	14 件
第 4 回	8 月 7 日	1 日	1 日	—	1 件	—	—	—	—	—	1 件
第 5 回	10 月 23 日	1 日	1 日	1 件	3 件	—	—	1 件	—	—	5 件

― 村川 毅 議員 ―

将来にわたる町の財政について

(町長) 覚悟を持って財政運営に努めている

村川 1点目。毎年、中長期財政推計を更新策定されているものと思う。今後数年間にわたり新幹線関連事業をはじめとする大型事業が計画されているが、事業の実施に伴い基金の減少や借入金

の増加が見込まれる。この人口減少が進む長万部町が将来、財政危機や財政破綻に陥る可能性はないのかどうか。

2点目。健全な財政運営をするための貯金といわれる財政調整基金の積立残高が令和5年度末で4億9200万円となっているが、これは10年前の平成25年度末と比較すると約3分の1の額にま

で減少している。財政調整基金残高は中長期財政推計では今後どのように推移すると考えているのか。

町長 「財政危機や財政破綻に陥る可能性はないのか」という質問だが、当然のことながら、そのような状況には絶対させてはいけないと思っています。新幹線駅周辺整備など大型事業の実施を控え、

少子高齢化による人口減少が進む中、令和5年度末で財政調整基金の残高が5億円を下回ったことから、みなさまに不安を与えているものと認識している。

しかし、ふるさと納税

による寄附金の増加に伴い、まちづくり基金の残高は前年度末で、前年度から約3億8200万円増の約6億4100万円となっている。本間に危機的な状況で破綻を迎えることがないよう、行政の長として覚悟をもって財政運営に努めている。

議員各位のご理解とご協力をお願いする。

2点目の「財政調整基金残高の財政推計での今後の推移」については、向こう5年間の中期財政計画の位置づけとして、本年度も財政推計を作成している。推計では、単年度収支による財源不足額を明確にするため、基

金繰入金による財源不足対策を行っていないが、仮に財政調整基金のみで補てんした場合、令和7年度からの2年間で4億5900万円の不足が見込まれることから、ほぼ底をつく結果となる。

実務上楽観的な見方をしないという考えにより推計しているので、各種基金への積立金や歳入が過大とならないよう繰越金を含めないなど、実際の予算執行とは異なるが、全職員でこの推計をもとに危機感をもって業務を遂行することで、財政調整基金の増額に努める。

村川 人口減少、少子高齢化によって今後の税収の伸びは期待できないと思うが、答弁にあるようにふるさと納税によるまちづくり基金が6億4100万円になったというところで、こちらは大変期待している。このふるさと納税の今年度の見込

みと今後の見通しについてはどのように捉えているのか。

まちづくり推進課長 昨年度ほど期待はできない状況だが、12月に入ってから順調に推移している。今年度末の寄附額としては3億円程度見込んでいます。今後の見通しについては引き続き各種取り組みを研究し、この水準を維持できるよう鋭意努力していく。

村川 起債の借り入れについて。これから新幹線関連や病院などの大型事業で起債の借り入れによって、借り入れのめどとなる将来負担比率や実質公債費率が増加するものと思う。そのことにより、さらにその先に計画している福祉センター、スポーツセンター、青少年会館の複合施設の建設に係る起債借り入れに影響が出てこないのかどうか。

総務課長 比率について

では、令和5年度決算に基づく最新の値で、将来負担比率が30・2%、早期健全化基準の350%を大きく下回っている。実質公債費率は9・9%、こちらも早期健全化基準の25%を下回っている。この比率の元となる地方債の残高はここ数年48億円前後で推移しており、5年度末で約47億5000万円となっている。起債の借り入れへの影響というのだが、起債の借り入れについては事前協議制で行っており、実質公債費比率が18%以上になると許可が必要となる。25%を超えると制限されることから、大型事業の実施にあたっては比率を勘案しながら実施しているところだ。

現時点では新幹線駅周辺整備や病院建設などの事業費は不確定要素が多いため、比率の推計はし

ていない。ストックマネジメント計画では福祉センター、スポーツセンタ―、青少年会館の複合施設への集約、複合化を目指しているが、これらの事業を行う際にも比率を勘案しながら、許可が必要となる18%を超えることがないよう努めている。

村川 単独事業の町立

病院や複合施設等については、やはり町民の願いでもあり、老朽化しているので、是非実施できるようにお願いしたい。

2点目の、健全な財政運営を行うための貯金と云われる財政調整基金について。町長が認識しているとおりの、財線調整基金の残高が5億円を下回ったことは、本町にとつて非常に不安なことだ。昨年、同僚議員の一般質問に対して、町長は年度当初で10億円がひとつの基本になる、10億円

を基本としていきたいと答弁していたが、額については私もまったく同感だ。しかし、先ほどの答弁で財政推計では仮に財政調整基金のみで補填した場合、2年間でほぼ底をつく結果になると。これは実務上楽観的な見方をしないという考え方により推計しているというのだが、それでは実際の予算執行において、どのように財政調整基金が推移しどのように10億円まで積み立てていくのか。

町長 今後ともいろん

な国の補助金・交付金を財源活用しながら事業を推進していくが、当初予算は大体40億50億程度が今年も大体今の段階で72億まで事業費が伸びている。そういう事業運営をやると言うことは、非常に厳しい状態だが、やはり町のためにやらなくてはならないことがたくさん

ん出てくるので、そこはきちんとやりながら財調の10億円を目指していく。これはひとつの大きな目標であり、町の財政を預かるものとしての大きな

責任だということを感じている。



役場庁舎

— 高森 功治 議員 —

違反ごみの対策について

(町長) 町の環境保全と資源化の推進を図っていく

高森 近年、ごみを市町村ごとのルールどおりに分別し排出するのは一般的となっているが、それを適切に行わない「違反ごみ」が問題となっている。福島県福島市では、「違反ごみ」について、

ごみ袋を開封して内容物の情報から個人や事業者を特定し、悪質であれば氏名や事業者名を公表することで、適切なリサイクルやごみの減量を推進しようとしている。町では、「違反ごみ」の対策についてどのように取り組まれているのか、町長の所見を伺う。

町長 本町では、町民や事業者が、燃やすごみ、燃やさないごみ、燃やす粗大ごみ、資源ごみなどに分別し、決められた収集日に町の指定ごみ袋でごみステーションやポリバケツなどでごみを排出したり、リレーポート山越や清掃センターに直接

ごみを搬入するなど、ルールを守っていただいている。

しかしながら、ごみの分別が明らかに守られていない、町の指定ごみ袋ではない袋などでごみが出される、決められた場所にごみを出さないなど、ルールが守られていない事例もある。明らかに分別されていないなどルールを守っていない「違反ごみ」については、分別しなおすことを促すシールを貼り周知しているが、それでも放置されたり、複数回にわたりルールが守られない場合は、町職員により内容物を確認し、個人や事業者が特定された場合は指導している。

今後も引き続き、「違反ごみ」については適切に対応していき、町の環境保全とごみの資源化の推進を図っていく。

高森 長万部では新幹線工事の関係で、転入者

や新たに町に来る人たちが多いと思うが、その対応についてはどのようにしているのか。

町民課長 町への転入届の提出の際に、窓口でごみ分別の手引やポスターを配布している。また、新幹線工事の業者の方々については、新幹線推進課を通じ手引きやポスターを業者に配布している。

高森 違反ごみについて、繰り返し行うなど悪質なケースな場合、今後福島市と同様に、個人名や事業者名を公表するということとは検討されているのか。

町長 長万部でも年に数回は違

反ごみがあるが、中身を検証していくと、封筒が出てきたり、また名前の書いたものが出てくると持ち主がわかる。その場合は職員が直接出かけて行き、町民に説明して、今後はしないように指導して解決に至っている。今はだいぶ減ってきているが、町の美化を守る以上はきちんと対応していかなければならないことが基本だと思っている。



ごみステーションに排出された違反ごみ

— 高森 功治 議員 —

外国人労働者と行政のかかわり方について

(町長) 必要に応じて取り組みを検討する

高森 昨年、北海道の発表によると、2050年には道内の総人口は約27%減の382万人と推計されている。道内すべての市町村で人口が減少し、減少率が50%を超える市町村は67か所、人口規模が5000人未満となる市町村は122か所になるとされている。わが町長万部の推計を見ると2050年には約2450人になると発表された。そのような中、北海道労働局の発表によると令和5年10月末現在、道内の外国人労働者は3万5439人となっている。今後一次産業のみならず福祉関係や建設関係その他の産業においても外国人労働者の増加が見込まれる。

全国的に労働者不足、人手不足が深刻化している中、外国人労働者に対してどのような認識を持っているのか、また行政としてどのような取り組みができるとお考えか、町長の所見を伺う。

町長 本町の人口は1960年代には1万5000人を超えていたが、少子高齢化により2050年には2450人まで減少することが発表されている。一方労働力人口は、女性や高齢者の労働市場への参加が増えたことにより増加している。しかしながら、15歳から64歳の生産年齢人口の減少は著しく、今後も減少が続く見通しだ。

外国人労働者に対してどのような認識を持っているのかとの質問だが、本町にも技能実習生や特定技能外国人など多くの外国人が在住しており、貴重な人材であると認識している。また、行政としての取り組みについては、町として行っていないが、外国人労働者を雇用するにあたっての課題として、日本語でのコミュニケーションへの不安や、異文化に対する相互理解、地域住民との交流機会の創出などが想定される。現時点では、雇用主または地域住民の方々の尽力により、一定程度、解消できるものと認識しているが、引き続き外国人労働者の地域での実情を見極めつつ、必要に応じて行政としての取り組みを検討していく。



静狩稲荷神社例大祭

高森 10月末の町内の人口が4748人だが、そのうち外国人は何人いるのか。

町民課長 302名の方々が外国人の方となっている。

高森 日本語でのコミュニケーションが取れないという方が中にはいると聞いているが、町では町民の方も参加してできるような、日本語講座みたいなものの開催は考えてないのか。

町長 入国する前に、母国で日本語の教育をかなり時間をかけてやってきており、以前はコミュニケーションをとれない方もいたが、現在は日本で生活するのに不自由がない程度になっている。

高森 今東南アジアの方々の労働力の取り合いが日本の中だけでなく、韓国、中国、日本で始ま

っている。そのような中、長万部に来てもらうために何か政策は打たないのか。

町長 今朝のNHKのニュースで、全道の外国人労働者が6万5000人という報道があった。ものすごいスピードで増えている。その中で長万部に来ても、我が町の対応は、何ら町民とは変わらない対応している。国籍が違うから選挙権はないが、例えばマイナンバーカードも発行しているし、商品券を発行したときもお使いいただいているし、二十歳のつどいに同じ年代の人がいると案内を出している。今これからの北海道、いわゆる長万部もそうだが、外国人の労働力は大切で、やはりきちんと待遇を考えながら、町民と何も変わらないサービスをやっていく。

— 高森 功治 議員 —

野良猫の避妊・去勢手術に助成を

(町長) 助成や対応については困難である

高森 現在、長万部町には野良猫が多数いると思われる。近所の野良猫にかわいそうと思って餌を与えていたら、あるとき子猫を数匹連れて現れ、仕方なく続けて餌を与え

る。するとまた野良猫が増える。という悪循環が続いて現在に至っている。考える。町でも「餌を与えないでください。餌を与えた方を飼い主とみなします。」と広報に掲載したり、苦情のあった地域にチラシを配布する事もしているが、一向に解決されない。大事なものは、これ以上野良猫を増やさない対策に力を注ぐべきだ。

しかしながら避妊・去勢手術代はオスで1万円、メスなら2万円ほどかかる。数匹いたり、病院までの道のり等を考えると無理と言う方々も少なくない。

北海道には、殺処分ゼロを目指して全道を駆け回り、割安で手術をしてくれる獣医師がいる。そのような先生に長万部に来ていただき、集中して手術を行ってもらうのはいかがか。あるいは、動

物基金で配布している、手術代が無料になるチケットを自治体枠を使って行うのはいかがか。町長の所見を伺う。

町長 野良猫については、公園や庭先でのふん尿による悪臭や衛生面の悪化、発情期の大きな鳴き声による睡眠の妨げなどの迷惑、野良猫の増加に伴う猫同士のケンカや争いによる騒音など、様々な問題がある。町としても、野良猫の問題により、地域に迷惑が生じないよう、野良猫へのエサやりをやめるよう周知している。

また、地域の衛生環境を改善しつつ、動物福祉にも配慮するため野良猫への無料不妊手術事業が、公益財団法人どうぶつ基金で行われており、野良猫に関しては、地域の方々の様々な意見もあり、また、町としても、今後、も厳しい財政状況であり、

住民生活に直結する優先課題に重点的に対応する必要があるため、助成や対応については困難であることをご理解いただきたい。

高森 動物基金の無料不妊手術事業でチケットを使用している市町村は、道内には何箇所あるのか。

町民課長 道内では33の市町村において事業に参加している。

高森 33の市町村が参加しているということだが、長万部町では参加することは検討されないのか。

町長 いろいろと事務方と協議をし、近隣町村を調べたが、渡島管内で森町が令和元年に1年間だけ実施している。中身を聞くとチケットを配付しても獣医師のほうでそのチケット代だけでは賄えなく、採算に合わなく1年で止めたということになっている。